

「とやの」とは、福井弁で「どうですか?」「いかがですか?」という意味で、ボランティア活動など「ちょっと始めてみませんか?」という思いが込められています。



▲講師の世古さんは、魅力的な笑顔と鋭い切れ味の言葉で、これまでのまちづくりの問題点を指摘。

『おまかせ』じゃない 自分たちの街の つくいかた!!

行政+NPOの共催で開催された 「まちづくり実践講座」レポート

1月23日(土) 鯖江市民活動交流センターで『参加と協働のまちづくり～新しい公共をデザインする～』と題したフォーラムが開かれました。市民参加による、これからの「まちづくり」を考えるこのイベントは、行政と(特)さばえNPOサポートがタッグを組んで準備してきたもの。多くの皆さんが参加し、耳を傾け、活発な意見が交わされました。講師の世古一穂さんは、NPO研修・情報センターの代表理事で、NPO法の成立にも尽力された方。講演ではビデオなども交えながら、市民参加と協働でつくる社会の姿を、分かりやすく説明していただきました。

★NPOってなんだろう?

民間の“非営利団体”のこと。といっても、お金儲けをしないということではなく、営利事業を行い、組織の維持や事業のために収益を使うことも、もちろんあります。

個人で行うボランティアに対し、みんながそういう活動に参加できる“場”を提供する立場でもあります。

NPOは現在も増えており、自治体などがNPOに事業を委託することが増えました。そのため行政とNPOの協働は、これからの時代、大きなテーマになってきています。

★公共ってなんだろう?

今では『公共=行政』と思う人も多いですが、実は明治以前には、地域や集落の公共の中心は住民でした。

行政の公共サービスに限界があるのも事実で、市民が参加した“新しい公共”が問われ始めています。

公共サービスを考えた時、市民はただのお客様ではなく、株主であり組合員だとも言えます。

本当の“市民のための公共”を実現するためには、行政のサービスに頼るだけでなく、市民自身が公共サービスの担い手となり、また、チェックする事が大切なのです。

★協働ってなんだろう?

NPO・企業・行政など、違う立場のみんなが力を合わせ、役割と責任を分担して、事業やサービスに取り組むこと。

ただ残念なことに、日本では官民を問わず、協働を“行政の下請け”のように考える風潮がまだまだ残っています。

本来の協働は、NPOや行政が“対等”に向き合い、それぞれの視点を尊重し協力しなくては成り立ちません。

そのためには、資金・権限・人材・労力などをどう分担するかを見直すことも、今後の大きな課題といえます。

★参加と協働のまちづくりのために…

自分の立場からだけの要求を繰り返す“おまかせ型”では、結局、本当の協働型社会は生まれてきません。

また、協働をコーディネートできる人材や役職が、リーダーとして必ず重要にもなります。

これから必要なのは、ただ「引っぱってくれる」だけではない、「耳を傾け、つなげてくれる」リーダーを育てること。

そして、自分たち自身も、そんな社会の一員だと、しっかり自覚していくことなのかもしれません。



▶ 番号カードを掲げて、自分の意見を示す参加者の皆さん。会場全体が盛り上がりです。



編集・お問い合わせ この回覧板は、鯖江市との協働事業で発行しています。

特定非営利活動法人 **さばえNPOサポート**
(さばえNPOセンター指定管理者)

〒916-0024 鯖江市長泉寺町1丁目9-20 鯖江市民活動交流センター内
TEL : 0778-54-7055 FAX : 0778-54-7058
E-mail : info@sabae-npo.org



♥誰でも気軽に使える情報発信♥ ホームページ : <http://www.sabae-npo.org/>

鯖江市内の市民団体ならばイベントやお知らせを掲載できます。